

件名	「上吉田村絵図」の恵贈 ふじさんミュージアムでの展示公開	問合せ	歴史文化課 24-2411
経緯		報告事項	
<p>「上吉田村絵図」は、現在の上吉田地区、新屋地区、松山地区を描いた江戸時代後期の絵図です。特に上吉田と富士山を中心に描いており、上吉田地区を詳細に描いた絵図としては、最も優れたものです。</p> <p>この絵図は、富士山が世界文化遺産に登録された平成25年に所蔵者の志村政文氏が南アルプス市荊沢の自宅で開催した「間屋場展」で初めて一般公開されました。その後、平成27年には、所蔵者のご好意により、ふじさんミュージアムリニューアル記念企画展「富士講のヒミツ」で展示させていただきました。そして、この度、志村政文氏より、この絵図は富士吉田を描いたものですので、市で永く保存活用いただきたいという願いによりふじさんミュージアムへご恵贈いただき、1月31日から、ふじさんミュージアム展示室で展示公開を開始しました。</p>		<p>資料名 ■ 上吉田村絵図 制作年 ■ 江戸時代後期（19世紀前半ころ） 作者 ■ 不明 寸法 ■ 縦 113.0×横 111.5 cm 内容 ■</p> <p>江戸時代の上吉田村と新谷村（新屋村）と松山村を描いた絵図です。なかでも上吉田村を詳細に描いており、上吉田と富士山を描く絵図としては、最も優れたものの1つです。</p> <p>上吉田村の入口には金鳥居が立ち、その両側には、御師の家が建ち並びます。村の左手には、多くの寺院が見え、この一画が寺町になっていたことが分かります。また、今はない寺院も描かれており、これまで名前のみ伝わっていた寺院の場所が初めて明らかになりました。村の上には北口本宮富士浅間神社が鎮座し、その裏手から吉田口登山道が富士山の頂上まで延びています。登山道を登っていくと、植生が草原から森林、そして裸地へと変化していくことも表現されています。この景観の変化から、登山者は、自分たちが徐々に神仏の住む聖域へ近づいていることを認識しました。</p> <p>このように絵図は上吉田と富士山を正確かつ詳細に描いており、世界文化遺産富士山とその構成資産である「吉田口登山道」、「北口本宮富士浅間神社」、「御師住宅」の歴史やその保存活用を考えていく上で、今後欠くことのできない極めて重要な資料です。</p> <p>寄贈者 ■ 志村 政文 氏（南アルプス市荊沢在住） 展示室 ■ ふじさんミュージアム 総合展示室 入館料 ■ 大人 400 円 小中高生 150 円 ※市内の小中高生と 65 歳以上は無料 参考文献 ■ 菊池邦彦 2013「発見！上吉田村絵図」『富士吉田市歴史民俗博物館だより』41 ふじさんミュージアムホームページ (https://www.fy-museum.jp) で公開中</p>	



上吉田村絵図



北口本宮富士浅間神社と上吉田村